



地域の「家守り棟梁」になりたい社長が届ける...

ジェントル通信

6月号

[発行者]

株式会社ジェントルワーク

東大阪市若草町7-9

TEL: 072-200-2215

[発行日]

2024年6月1日 Vol.37

こんにちは！笠松です。ジェントル通信楽しみにして下さってる方々お待たせいたしました！！発行が遅くなりました💧

ジメジメな6月🥵湿度が高いとなんだかだるーくなったり憂鬱になりがちですね。

カタツムリみたいにマイペースで今月も乗り切りましょう！6月も皆様にとって素敵な1ヶ月になりますように…



神は細部に宿る

最近、耳にした言葉です。細部にこだわってこそ作品の本質が決まる。細かいところまで気を配らなければならないという意味で、芸術の世界で生まれた言葉ですが、世の中の全てのことには当てはまるのではないかと思います。

それは、表面的な部分や一部分だけをこだわっても、そうではない部分が見えると、それがそのものの本質であると判断されるということ。それは人にも当てはまること。仕事のことを考えてもそうでした。どれだけ建物の見えない部分にこだわっても、仕上げの細部仕事があれば、ダメな建物と評価されるのは当然。

人の場合、一目惚れで恋に落ちるのは2秒。人の第一印象はわずか3秒で決まると経営者が集まる講座で教えられました。

「視覚情報」が55%「聴覚情報」が38%「話の内容」が7%と。ほとんどが見た目で決まってしまうと断言されていた。

いくら良い話をしていても、どんなに素晴らしい建築技術を持っていても、見た目が悪ければ台無しになり、仕事ができる人は、清潔感など相手に不快な印象を与えないために細かなこだわりを持っているという。

職人上がりの僕が、それを意識しだしたのは、その話を聞いてからのこと：

「神は細部に宿る」という言葉を意識して、私生活の細かな習慣や物事に対する向き合い方を今一度見直しているところです。身に付けた建築技術を、自分の見た目で判断されることは避けたいと、心から思った話でした。

誰かに評価されるジェントルマンになる日まで自分の細部までこだわること意識したいと思います。



今月の忘れられない失敗

バランスよく生きる事の巻

かなり昔の懐かしい失敗談。

物事何でもやり過ぎは良くない！やりすぎて丁度良いのは人への感謝だけ。

昔、少年野球で学んだ教訓…

当時の僕は、一つの事をやりだすと周りが見えなくなり、力を抜くことができなかった。

小学5年になりピッチャーを任せられ、毎日100球を超える投球練習。30年前の指導は「根性」が全てだった気がする(笑)

成長期の僕には、その指導法が合わず肩を壊し、全治半年以上のケガを経験。

その時は「何でこれだけ頑張っているのに自分だけ…」「いやいや。まだまだ諦めないぞ！」

頑張っていればいいことがある。必ず報われると自分に言い聞かせていました。

ケガも治り中学に上がった頃、もう一度肩を壊し一年間ボールを投げられなかった…

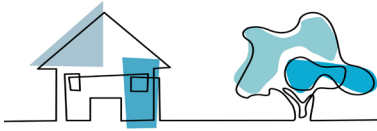
その時は毎日グラウンドの隅でランニング。成長期の少年にはあまりにも長く感じた時間。

その時に監督からかけられた言葉が

「何でもやり過ぎは良くない。」
「やり過ぎていいのは人への感謝だけ…」

流石にその当時の僕にける言葉ではないと思いますが(笑)今でもその言葉は心に残っています。

やり過ぎず、全体を見てバランスを考えながら、感謝して生きる事が大切だと昔の反省は、少しだけ今に生かされています。



今月のお宅

家は、その家族の暮らしを映す。
既に職業病だと自覚しながら...今日も
誰かの住宅を見て想うことを繰り返す

今月の僕が記事に取り上げた一軒は... **空き家**

生まれ育った家から離れ独立すると、違う土地で生活基盤を整えるのが一般的
時間軸では避けられないのが自分より両親が先にいなくなるという現実
両親が亡くなると国民の7割の人が相続する「**実家**」

最近、その実家の活用法に悩んでいる方からの相談が増えています。

選択肢は様々

- ・そのまま現状維持する (住む・貸す・売却する)
- ・リフォームする (住む・貸す・売却する)
- ・建て替える (住む・貸す・売却する)
- ・更地にする (売る・国に引き取ってもらう)

上記のどれかを選択しても思うようにならず空き家になってしまうケースは多い。

空き家になり、そのまま放っておくとどうなるのか？

下記だけは知っておいてください

特定空き家に指定される

行政から特定空き家に指定されると、固定資産税が6倍に跳ね上がる。その上「行政代執行」がある。

再三の指導・命令を行ったにも関わらず改善されない場合、自治体が強制的に空き家を解体でき、解体費用は所有者の負担。

しかし空き家に指定されたとして、すぐに固定資産税が上がったりするわけではないので安心してください。
再三の助言・指導があっても改善されなかった物件のみなので、行政からの指導があれば対処するのがおすすめです。(解体費も行政の請求より自分でやる方が断然安価)

更にお伝えしたいのは、出来れば所有者が活着しているうちに自身で対処するのが望ましい。

実は、僕も両親から相続した家が空き家になりそうな状態です。

その家は、築41年木造戸建て4DK。倉庫代わりに使用しているので、大量の大工道具や建築資材等がある為
すぐには売れない事情があります。

でも先延ばしにすると空き家所有者としての意識が薄れていきそうなので、今年中には問題解決しようと、
現在、活用と売却での選択の検討と準備をしています。

他人事ではない話ですが、一番最初に考えてほしいのは「**売却するか活用するのかの方向性**」

もし売却する方向の決断なら、多少自分が思った額より安くても売ってしまうのがおすすめです。

空き家をそのままにしておくことだけはやめてください。

これを読んでくださってるみなさんの中に、相続の事を考える時期の方がおられたら...

売却も活用も、住宅の状態が影響します。

当社では無料サービスとして、「住宅診断」「売却査定」「家賃査定」を行っています。

一切の営業は致しませんので、遠慮なく活用ください。

僕は、毎年空き家対策に使われる60億円以上の税金は、今からでも削減して子ども達の教育支援に使ってもらいたいと切実に思います。未来を担う子供は国の財産ですから。